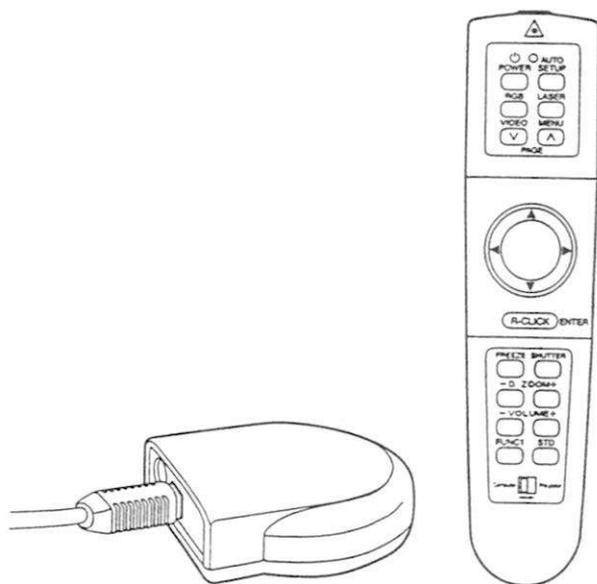


## 取扱説明書

品番 TW-RM100



このたびは、パナソニック ワイヤレスリモコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

# もくじ

---

安全上のご注意	3
付属品を確認する	5
各部の名前と働き (リモコン発信機、リモコン受信機)	6
電池の入れかた	8
操作範囲	8
パソコンと接続する	9
リモコンを使う前に	10
リモコンの操作 (▲▼◀▶ボタン・クリック1ボタン・クリック2ボタン)	11
受信機の設置位置と操作範囲	12
受信機の設置位置	12
操作可能な距離と角度	12
持ち運び時の注意点	12
修理を依頼される前に	13
ソフトウェアの互換性	13
保証とアフターサービス	14
仕様	15

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



## 注意

- 電池の+・-部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

# ⚠ 注意

## ■ 指定以外の電池を使用しない



禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

## ■ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

## ■ レーザー光をのぞきこんだり、人に向けない



禁止

リモコン発信機より発射されるレーザー光を、直接目に当てますと、視力低下などの原因になることがあります。

## ■ 電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがや火傷の原因になることがあります。

## ■ 電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する

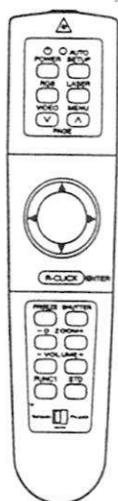


間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

# 付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。

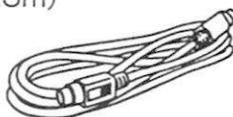
リモコン発信機 1コ



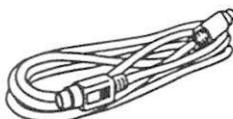
USBケーブル 1本 (1.5m)



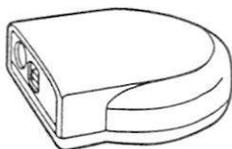
PS/2 6ピン・ミニDINケーブル  
1本 (1.5m)



ADB 4ピンケーブル 1本 (1.5m)



リモコン受信機 1コ

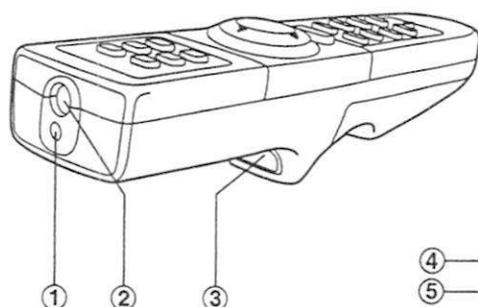


単4形乾電池2コ

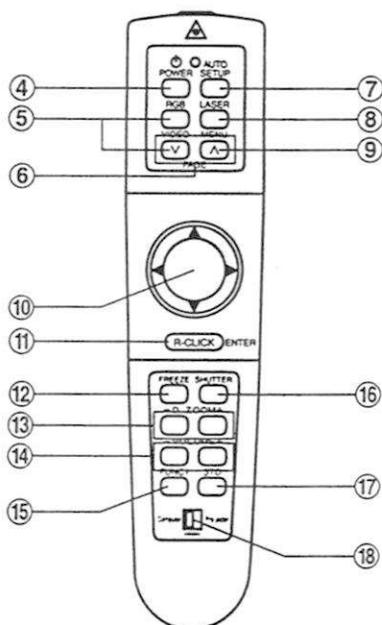
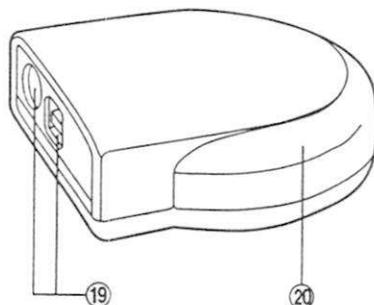


# 各部の名前と働き

## リモコン発信機



## リモコン受信機



- ① レーザー光発射部
- ② 赤外線発射部
- ③ クリック1ボタン  
付属のケーブルでリモコン受信機とパソコンを接続すると、パソコンのマウス代わりにクリック(ボタンが2つあるマウスの場合は左ボタンに相当)することができます。
- ④ 電源 (POWER) ボタン  
液晶プロジェクター本体の電源を「入」「切」します。
- ⑤ 入力切り換え (RGB, VIDEO) ボタン
- ⑥ ページ (PAGE) ボタン  
パソコン操作モード時にキーボードのカーソル上下ボタンと同じ働きをします。
- ⑦ オートセットアップ (AUTO SETUP) ボタン  
映像を投写してこのボタンを押せば、入力信号にあわせて自動調整します。オプションメニューの「自動台形補正」が「オン」に設定されていれば、本機の傾きを検知して台形歪を自動的に補正します。

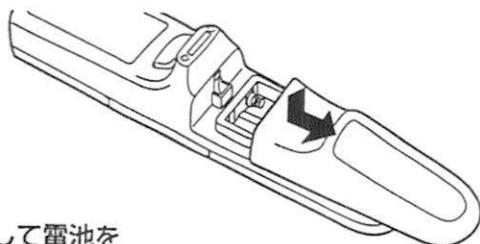
- ⑧ **レーザー (LASER) ボタン**  
ボタンを押している間、レーザー光を発射します。
- ⑨ **メニュー (MENU) ボタン**  
メインメニューを表示させます。メニューが表示されている時は、前の画面に戻したり、メニューを閉じたりすることができます。
- ⑩ **▲▼◀▶ ボタン**  
オンスクリーンメニューで項目を選択したり、設定の切り換え、調整を行なうことができます。  
※パソコン操作モード時はマウスカーソルボタンとして働きます。
- ⑪ **クリック2 (R-CLICK) ボタン**  
付属のケーブルでリモコン受光部とパソコンを接続すると、パソコンのマウスでクリックボタンが2つある場合の、右ボタンの動きをします。  
※ プロジェクター操作モード時はエンターボタンとして働きオンスクリーンメニューで項目の決定や実行ができます。
- ⑫ **フリーズ (FREEZE) ボタン**  
動画を一時的に静止させます。
- ⑬ **デジタルズーム (D.ZOOM +/-) ボタン**  
映像を部分的に拡大することができます。
- ⑭ **音量 (VOLUME +/-) ボタン**  
内蔵スピーカーの音量を調整します。
- ⑮ **ファンクション1 (FUNC1) ボタン**  
プロジェクターで設定したオプション機能の切り換えに使用します。
- ⑯ **シャッター (SHUTTER) ボタン**  
映像と音声を一時的に消すことができます。
- ⑰ **スタンダード (STD) ボタン**  
調整値を工場出荷状態に戻します。
- ⑱ **操作モード切り換え (Computer, Projector) スイッチ**  
パソコンを操作するときは左側、プロジェクターを操作するときは右側に切り換えます。
- ⑲ **パソコン用ケーブル接続部 (9ページ)**
- ⑳ **リモコン受光部**  
円型の光沢のある部分が受光部です。

#### お願い

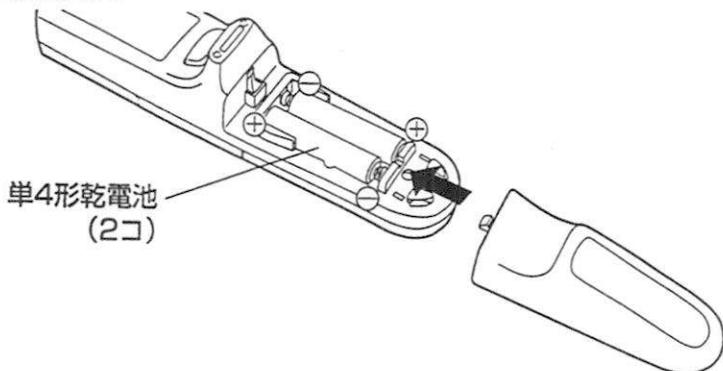
- 各ボタンの詳しい説明は、液晶プロジェクターの取扱説明書を参照ください。

# 電池の入れかた

## ① ふたをあけ



## ② 極性に注意して電池を入れ、ふたをしめる



## お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。

## 操作範囲

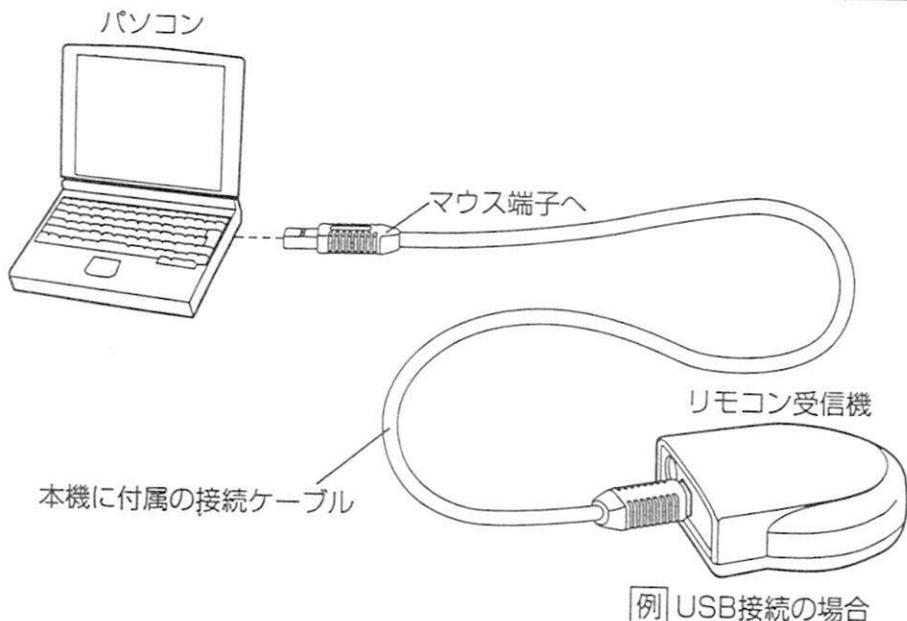
リモコンを直接、プロジェクターの前面/後面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、受光部正面より約7m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。

パソコンに接続した付属のリモコン受信機に向けて操作する場合は、12ページを参照ください。

## お知らせ

- リモコンと受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

# パソコンと接続する



本機（リモコン）でパソコンを操作する場合は、付属の受信機を、従来のマウスと同じようにお客様のパソコンのUSBポートかPS/2マウスポートまたはADBポートに接続します。

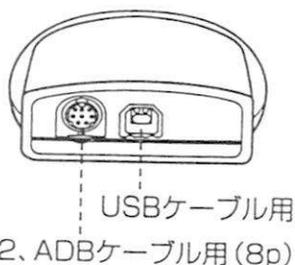
- 付属の接続ケーブルを使い、コネクタのピンが曲がらないように注意しながら、確実に奥まで差し込んでください。

USB用：白色（両端が四角）

PS/2用：灰色Din6p（オス） ↔ Din8p（オス）

ADB用：灰色Din4p（オス） ↔ Din8p（オス）

※PS/2、ADBケーブルを接続するときは、  
ポート保護のために、パソコンの電源を  
切ってから接続してください。

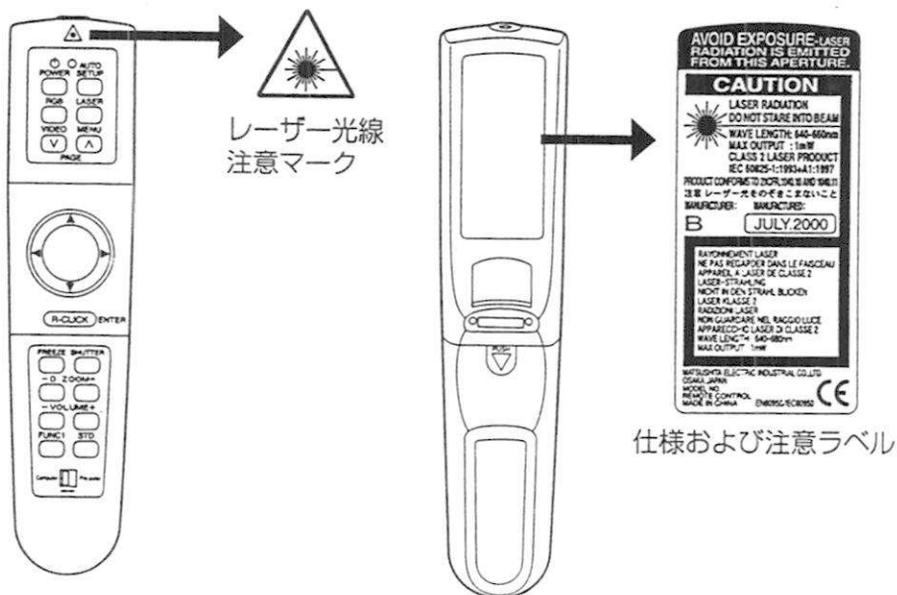


## お願い

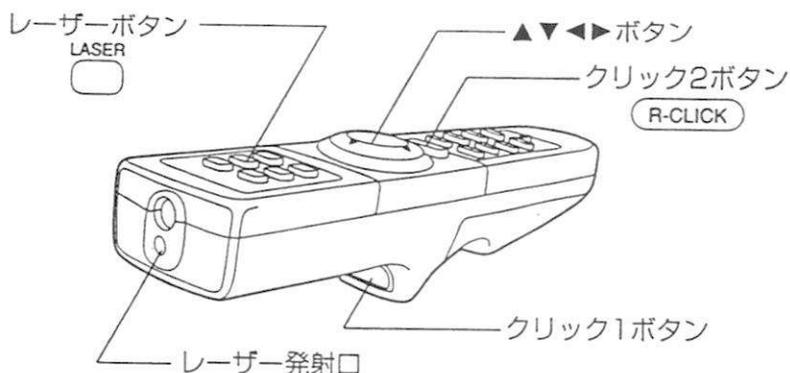
- 接続ケーブルは各パソコンに対応したケーブルのため、本機に付属のケーブル以外は使用しないでください。

# リモコンを使う前に

リモコンのレーザー発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射すると、視力低下などの原因になることがありますので、ご注意ください。



# リモコンの操作



## 1. ▲▼◀▶・クリック1・クリック2ボタン

### ● ▲▼◀▶ボタン

親指で軽く押さえながら上下左右に動かすと、画面上のマウスカーソルも上下左右に動きます。軽く押せばゆっくりと、強く押せば速くカーソルが動きます。

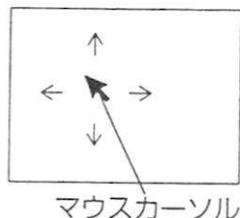
### ● クリック1ボタン

リモコン裏面のクリック1ボタンは、ボタンが1つしかないマウスのクリックボタンの代わりとして使用されます。

また、ボタンが2つあるマウスの場合は左ボタンに相当します。

### ● クリック2ボタン

リモコン前面のクリック2ボタンは、ボタンが2つあるマウスの場合の右ボタンに相当します。



## 2. レーザーボタン

- レーザーボタンを押している間、レーザー光が発射されます。

レーザー光をスクリーンに当てることによりポインターとして利用できます。

## お願い

- その他、本体付属リモコンと同名称ボタンの詳しい説明は液晶プロジェクターの取扱説明書を参照ください。

# 受信機の設置位置と操作範囲

## 受信機の設置位置

TW-RM100の受信機は、縦でも横でも方向を選びません。もし、テーブルか机の上に設置する場合には、テーブルや机による信号の妨害が最も少なくなる位置に置いてください。また、送信機の送信方向と受信機のレンズとの間に障害物で遮られるような置きかたはしないでください。更に、家具や人など障害物の多い部屋でTW-RM100を使用する場合は、受信機を一段高い位置に設置することをお勧めします。

## 操作可能な距離と角度

TW-RM100は、部屋の大きさ、電気ノイズなどの状況にもよりますが、約12mの距離内で動作させることが可能です。また、送信機は赤外線信号を受信機に送ることで動作しますので、送信機の送信方向に障害物がないようにしてください。実際試されると、広範囲な角度でご利用いただけることがわかりになると思います。

条件によっては、プレゼンテーションのスクリーンや壁に反射させ、後ろにある受信機に信号を送ることができます。

**お知らせ** TW-RM100使用中に信号到達距離が低下したと感じられたり、カーソルの動きが悪くなったときは、送信機の電池を交換してみてください。

## 持ち運び時の注意点

TW-RM100は、使用しないとき自動的に低消費電力のスリープ・モードに入りますが、持ち運ぶ場合には電池を外すことをお勧めします。電池を外すことにより電池の寿命をさらに延ばし、不用意な操作（持ち運び時にマウスボタンやクリックボタンが押されて動作状態になる）で電池が消耗することを防ぎます。

# 修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください

症状	ここをお調べください
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"><li>●電池が消耗していませんか。</li><li>●極性は正しくセットされていますか。(8ページ参照)</li><li>●リモコン送信機と受光部の間に障害物はありませんか。(8、12ページ参照)</li><li>●リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。(8、12ページ参照)</li><li>●蛍光灯などの影響を受けていませんか。</li></ul>

## ソフトウェアの互換性

TW-RM100はWindowsおよびMacintoshと互換性があります。  
Windowsでは、Windowsに標準で付属するマウスドライバでそのまま使うことができます。(3.1、95、98、98SE、2000)  
Macintoshの場合は、OSに標準で付属するマウスドライバでそのまま使うことができます。(ADBまたはUSBポートがある機種のみ)  
マウスドライバのインストールが必要な場合は、各OSに付属の取扱説明書を参照してインストールしてください。

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 1. 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から本体1年間。

## 3. 修理を依頼される時

13ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料**は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

# 仕様

リモコン本体	
使用電源	DC3 V (単4形乾電池2本)
動作距離	● プロジェクター本体受光部：約7 m以内(受光部正面距離) ● パソコン用リモコン受信機：約12 m
使用環境条件	動作温度範囲 0℃～+40℃ (湿度30～85%、ただし結露なきこと)
	保存温度範囲 -20℃～+60℃
外形寸法	横幅33 mm、高さ168 mm、厚さ40 mm
質量	約90 g (乾電池含まず)

受信機	
使用電源	マウスポートより供給 (20 mA以下)
外形寸法	横幅80 mm、高さ80 mm、厚さ22.5 mm
質量	約60 g

## 商標について

- PS/2、VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- PC-98は日本電気(株)の商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

---

松下電器産業株式会社 映像システム事業部 S0600-0A

〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号 ☎ (0726) 22-8181